

# 保健

死亡者数

## 令和2年から増加 要因は高齢者の死亡者数の増加による



**太田文之議員(参政党)**  
本市では、令和2年から現在まで死亡者数が増加しており、高齢化が原因であるとは言えない状況だと考えている。そこで、同年以降における人口10万人当たりの死亡者数の推移はどのようになっているか。また、死亡者数が増加している要因について市の見解を問う。

**答** 本市における人口10万人当たりの死亡者数は、それぞれ年末時点で、2年が760人、3年が809人、4年が872人であり、3年間で112人増加している。これら全ての年において、約9割が65歳以上であることなどから、高齢者の死亡者数の増加が大きな要因であると考えている。

資格確認書の発送

## マイナ保険証 登録の解除期限は7年5月末までに解除を



**とくたけ純平議員(日本共産党)**  
令和6年12月2日に現行の国民健康保険被保険者証の新規・再発行が廃止される予定だが、発行済みの被保険者証は同日以降も使用できるか。また、同日以降マイナ保険証の利用登録をしていない場合や利用登録を解除した場合には、被保険者証に代わる資格確認書が被保険者の申請によらずに発送されることだが、7年度に発送されるための利用登録の解除期限を問う。

**答** 発行済みの被保険者証は、7年7月31日まで使用できる。また、同年7月に発送予定の資格確認書は、同年5月末までに利用登録を解除すれば、申請によらずに発送する予定である。

# 行政

犯罪被害者等支援条例

## 制定すべきと考えるが市の見解は条例施行に向けて準備を進めている



**中村よしお議員(公明党)**  
令和3年6月定例会において、犯罪被害者等を支援する条例整備についての質問を行ったが、それ以降、

**答** 本市における犯罪被害者等支援条例の制定については、これまで調査、検討を行っており、そうした中、6年1月に千葉県警察本部などから市長に対し、条例の制定を要望されたところである。このような背景もあり、同年10月にはパブリックコメントを実施するなど、7年度からの条例施行に向けて準備を進めている。

職員の熱中症予防

## どのような対応をしているか冷房の設置や予防周知に努めている



**中町けい議員(市民クラブ)**  
熱中症予防に係る労働法令では、冷房の設置や水分の準備などについて義務付けられているが、本市は、

**答** 本市の熱中症予防対策は、作業環境の管理として、屋内における適度な通風や

冷暖房設備の設置等の対策を行っており、水分補給等による体調管理については、個人の属性に影響を受けるものであるため、職員による対応が基本と考え、水分等の現物給付や空調服の貸与は行っていない。今後も熱中症予防について、これまで以上に全職員に周知を図りその防止に努めていく。

下水道使用料

## 改定料金 職員逮捕を鑑みても適正か影響はないものと認識している



**つかこしたかのり議員(市川維新の会)**  
令和5年4月に改定した下水道使用料は、下水道整備費用等を対象経費として料金を算出していること、

**答** 本使用料の改定は、2年度に改定額を算出し、4年度を目指して進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、5年度に行なったものである。改定料金の算定に係る下水道整備費用は、2年度に工事の設計金額を基に算出しているため、職員逮捕の影響はないものと認識している。

広報いちかわ

## 配布方法や内容を改善できないか様々な観点から総合的に検討する



**国松ひろき議員(創生市川)**  
広報いちかわは、新聞折り込みなどにより配布を行っているが、その存在を知らない市民も多いと感じる。

**答** 令和5年度の市民アンケートでは、市の情報を得る際に広報いちかわが最も利用されているとの結果も出ているため、これまで以上に市民に役立つ情報を伝えられるよう努める。今後は広報の全戸配布やページ数の増、掲載内容も含め課題を整理し、市民ニーズや費用対効果など様々な観点から総合的に検討していく。

# 教育

プールの老朽化

## 民間施設の活用を検討するべき関係部署と連携し調査していく



**丸金ゆきこ議員(チームいちかわ)**  
近年、水泳の授業を民間施設で行う動きが広がっており、本市も民間施設での実施を早急に検討すべきと

**答** 本市では、学校の建て替えや施設の老朽化でプールが使用できなくなった場合に、市川市学校環境基本計画に基づき、民間施設の活用を含めて検討することとしている。また、民間プール施設を活用した開放については、他市の事例を参考にしつつ、関係部署と連携し、調査・研究していく。

教員による傷害事件

## 2月定例会で質問 その後の対応は再発防止に向けて指導方法を徹底



**門田直人議員(れいわ新選組)**  
令和6年2月定例会において、発着障がいのある児童への傷害容疑で本市教員が書類送検された事案につ

**答** 当該教員は不起訴処分となったところである。対応としては、当該教員に指導等を行っているほか、各学校に対し、特性のある児童生徒への具体的な支援の方法について、巡回指導員等による指導助言等 これまでも実施してきた。今後、再発防止に向け、指導方法の徹底を更に図っていく。

長期休業中の体育館

## 放課後子ども教室等の利用は可能か調整を進めていきたいと考えている



**小山田なおと議員(公明党)**  
長期休業中の小学校の体育館は、学校施設使用団体が使用していることだが、近年の夏はあまりにも

**答** 長期休業中の体育館使用については、学校や学校施設使用団体との調整が必要な状況ではあるが、放課後子ども教室や放課後保育クラブを利用する児童の状況を踏まえ、多くの学校で児童が楽しんで体育館の利用ができるよう調整を進めていきたいと考えている。

菅野駅前ロータリー

## 施設計画に基づく工事の進捗状況は7年2月末の完成 住民理解に努める



**越川雅史議員(無所属の会)**  
令和4年12月定例会以降、繰り返し質問してきた菅野駅前ロータリー施設計画について、その策定に当たり、

**答** 6年度は、施設計画に基づき駅の北側でクロマツ等を植栽する造園工事、南側で縁石等を設置する土木工事を予定しており、7年2月末の完成を目指している。工事の実施に当たっては、事前に地域住民に工事内容やスケジュールを知らせる等、理解に努めていく。

# 街づくり